

オフセット・クレジット(J-V E R)制度における対象プロジェクト種類の追加に係る意見募集の結果等

I. 意見募集の結果

1. 意見募集の概要

オフセット・クレジット (J - V E R) 制度における対象プロジェクト種類に追加する対象として、「カーナビゲーションシステムを利用したエコドライブ支援システムによる CO2 排出削減」、「魚油由来バイオマスによる化石燃料代替」、及び「液晶製造工程における SF6 から COF2 への使用ガス代替」のポジティブリスト (案) 及び方法論 (案) について、以下のとおりパブリックコメントを実施した。

- 募集期間：平成 23 年 11 月 14 日 (月) ～平成 23 年 11 月 28 日 (月)
- 告知方法：電子政府の窓口 (e-GOV) 及び環境省ホームページ
- 意見提出方法：電子メール、郵送、F A X のいずれか

2. 提出された意見数

意見提出者数：1 名・団体
のべ意見数 : 1 件

3. 提出された意見の概要及びそれに対する考え方について

該当箇所	指摘事項の概要	指摘事項への対応
液晶製造工程におけるSF6からCOF2への使用ガス代替		
資料** (方法論)	<p data-bbox="338 416 539 1066">プロジェクト概要</p> <p data-bbox="539 416 1364 1066">【意見】 弊社では、1998年10月より2003年3月の間、独立行政法人新エネルギー・産業技術開発機構（NEDO）の委託事業として行われた財団法人地球環境産業技術研究機構（RITE）半導体CVD洗浄プロジェクトに参加し、半導体プロセスで使用されるSF6、C2F6等の代替候補ガスの開発・研究に参画しました。この中で生まれた二フッ化カルボニル（COF2）の技術を普及させるために2007年NEDOより補助金を受け、100t/yのCOF2生産設備を設置いたしました。COF2のエッチング、クリーニング性能は、既存ガスに比べて遜色がなく、また、排出ガス中のPFCが非常に少ないことから、温暖化ガスの排出が抑制され、地球環境にやさしいガスであることがこのプロジェクトで証明されております。以降、この設備で製造されたCOF2を拡販に努めていますが、一部ユーザーで採用されたものの、COF2の毒性に起因するガス検知器の設置など初期投資が大きいことなどから広く一般に普及するところまでは至っておりません。</p> <p data-bbox="539 694 1364 758">今回のオフセット・クレジット（J-VER）制度により、補助が受けることが可能であれば、この問題が解決され普及に向け大きな弾みとなることを期待できます。さらに液晶製造だけではなく、半導体・太陽電池製造分野などにも広く適用していただくより効果が大きいと思います。</p> <p data-bbox="539 782 1364 829">なお、弊社ではCOF2の各種実験データを自社で測定しており、液晶製造工程におけるSF6との比較データなども保有しております。COF2の普及に向け、弊社では今後も努力を続ける所存です。</p> <p data-bbox="539 853 1364 877">貴省におかれましても、COF2の普及に向けた各種取り組みを実施されることを望んでおります。</p> <p data-bbox="539 901 1364 965">添付資料として、セミコンJapan等で発表している弊社のポスター及びパンフレットとNEDOから発刊されている冊子「NEDO実用化ドキュメント～研究開発プロジェクトのその後を追う～」に記載されている弊社のPR記事を送付させていただきます。</p>	<p data-bbox="1364 416 1968 542">【回答】 半導体・液晶製造分野ではPFCs、SF6の削減が課題とされており、施策の一つに代替ガスによるGWP値低減が挙げられておりますが、ご指摘の通り、その開発、普及は未だ途上にあります。</p> <p data-bbox="1364 566 1968 630">今回の方法論では、液晶製造におけるエッチングガスの代替を対象としておりますが、半導体や太陽電池等の製造プロセスでの低GWPガスへの代替も、J-VER制度の対象となりうるものです。</p> <p data-bbox="1364 654 1968 726">ご意見にありますようなプロジェクトで有望なものがありましたら、是非本制度事務局までご提案ください。定められた手続きに則り、方法論化を検討いたします。</p>